

第9回 PAP 勉強会

(第9回肺胞蛋白症勉強会)

恒例になりました PAP 勉強会を本年は東京で開催いたします。勉強会では患者様、ご家族、ご友人、医療関係者が共に集い、肺胞蛋白症の情報を交換し、勉強をする事を目的としています。皆様奮ってご参加ご討議くださるようお願いいたします。

尚、当日 11:00 から患者会の総会も開催される予定です。患者会にもご参加いただければ幸いです。

日 時：2017年10月29日（日）13:00～16:00

参 加：患者様、ご家族、ご友人、医療関係者。

費 用：無料

場 所：グランフロントナレッジキャピタルカンファレンスルーム Tower B

アクセス：JR 大阪駅、阪急梅田駅、御堂筋線梅田駅から徒歩3分

付 記：11:00 から同会場で、日本肺胞蛋白症患者会総会（患者様、ご家族等）を開催します。会員及び、患者会にご興味のある方はご参加ください。

主 催：国立研究開発法人日本医療研究開発機構 難治性疾患実用化研究事業

「肺胞蛋白症診療に直結するエビデンス創出研究：

重症難治例の診断治療管理」研究班

国立病院機構近畿中央胸部疾患センター

共 催：日本肺胞蛋白症患者会

帝人在宅医療株式会社

(会場で酸素ボンベの用意有り。事前連絡が必要です)

第9回肺胞蛋白症勉強会プログラム

(参考 11:00~12:00 日本肺胞蛋白症患者会総会)

- 13:00~13:05 開会の挨拶
NH0 近畿中央胸部疾患センター 井上義一
- 司会 東京医科大学八王子医療センター 一和多俊男 (案)
- 13:05~13:20 「肺胞蛋白症患者会報告 (仮)」
日本肺胞蛋白症患者会会長 小林剛志
- 13:20~13:50 「肺胞蛋白症を巡る国内国際最新情報: 厚生労働省、
日本医療研究開発機構動向と新薬開発状況を含む」
NH0 近畿中央胸部疾患センター 井上義一
- 13:50~14:20 「誰でもわかる肺のガス交換と検査データの読み方」
神戸市立中央市民病院呼吸器内科 富井啓介
- 14:20~14:35 休憩
- 司会 NH0 近畿中央胸部疾患センター呼吸器内科 新井徹
- 14:35~15:05 「ちょっと一息、呼吸リハビリテーションの実習と応用 (案)」
NH0 近畿中央胸部疾患センターリハビリテーション科 牛村美穂子
- 15:05~15:35 「増悪を繰り返す例の全肺洗浄、rhGM-CSF 吸入併用効果 (案)」
東北大学医学部呼吸器内科 大河内眞也
- 司会 大阪大学医学部呼吸器内科 木田博
- 15:35~16:05 「肺胞蛋白症の患者とご家族に役立つ感染症対策 (案)」
長崎大学医学部熱帯医学研究所臨床感染症学分野 森本浩之輔
- 16:05~16:25 「Q & A コーナー (質疑応答)」
NH0 近畿中央胸部疾患センター呼吸器内科
杉本親寿
- 16:25~16:30 閉会の挨拶
新潟大学医歯学総合病院 中田光

参加希望者は本頁に記入し FAX または郵送で、
2017 年()月()日までに、下記までお送りください
(ご連絡いただかなくても参加できます)。

送付先

FAX 番号 072-252-3688

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180

NHO 近畿中央胸部疾患センター臨床研究センター 田中彩佳、井上義一宛

Fax&Phone: 072-252-3688

送付日時 (年 月 日)

発信者 お名前 イニシャルも可 ()

第 9 回 PAP 勉強会 に参加します

以下の個人情報は勉強会のご案内、急なご連絡時に使用します。

勉強会以外には使用しません。必須ではありません。

ご住所 ()

FAX 番号 (- -)

電話番号 (- -)

E-mail (@)

日本肺胞蛋白症患者会総会 (11:00~12:00) へ参加 (はい、いいえ)

ご本人以外に一緒に参加をご希望の方がいる場合 (ご家族、ご友人、他)

ご本人のご身分: 患者、家族、友人、医療関係者、その他 ()

酸素を吸入中ですか? (はい いいえ) 液体酸素ですか (はい いいえ)

吸入中の方は何リットル/分吸入中でしょうか? () リットル/分

酸素吸入をしていらっしゃる方で体調に自信のない方は、必ず主治医の先生
に参加可能かご相談下さい。

Q&A コーナーでの質問事項 (病気、生活、補助、厚労省への要望等なんでも可能)